公立久米島病院だより

高齢者の健康シリーズ⑪

―排尿の障害―

病院長　深谷　幸雄

それでは排尿障害に入ります。排尿障害には尿が出にくい状態と出なくていい時に出てしまう状態があります。今回は尿が出にくい状態＝尿閉についてお話しましょう。代表的なものが高齢者の男性に多い前立腺肥大症です。前立腺は膀胱から尿道が出ている部分にあり、尿道を包み込んでいます。前立腺が肥大すると、内側にも肥大して尿道を狭くしてしまうのです。この病気は70代の男性でおよそ12％の方が持っています。排尿症状、残尿、前立腺の肥大で診断されます。排尿症状とは①尿勢低下　②尿線途絶　③腹圧排尿　④開始遅延　⑤終末尿滴下　などの症状を言います。残尿とは排尿が終わった時点でもまだ膀胱に多くの尿が残っている状態です。ですから少し尿が膀胱内に追加されるだけで尿意が出てきますから、いわゆる頻尿という症状となるのです。治療としてはまず飲み薬で対処します。飲み薬でも改善されない場合は肥大の程度などによって内視鏡で前立腺を削る手術を選択する場合もあります。前立腺肥大の中に前立腺癌が潜んでいる場合があります。もちろんこの場合は前立腺癌の治療となりますから内服薬やその他の治療法も変わってきます。前立腺肥大以外の原因で尿が出にくくなる病気に神経因性膀胱というのがあります。膀胱の出口の尿道の周りには前立腺と供に尿道括約筋という筋肉が尿道を取り巻いていて、蛇口の役割をしています。排尿をする特には膀胱の筋肉が収縮して内部の圧を高めると同時に尿道括約筋がゆるんで尿が尿道から出ていくようになるのです。これらの筋肉の動きは神経によって行われます。仮にこの尿道括約筋を支配している神経の機能が異常を起こし筋肉が緩まないとおしっこを出したくても出せなくなってしまいます。これが神経因性膀胱による尿閉です。神経因性膀胱の原因には、脳の中枢の障害である脳血管障害、パーキンソン病、認知症、脊髄の障害、末梢神経障害などがあります。これも内服治療が第一ですが、それでも良くならない時は間歇的自己導尿などで対処します。

学習のつまづきの背景にあるもの

～発達障がいを知ろうシリーズ⑬～

小児科医　渡邉　幸

学習につまずきがあったらみんな学習障がい（＝LD）というわけではありません。子どもが学習につまずく場合には以下のような背景が考えられ、その原因によって対策は異なるため、まずは原因をはっきりさせることが大切です。

①注意・集中の問題：物事を学んで行く上で、先生の話などに注意を向け続ける事や、課題に集中して取り組むことは非常に大切な能力です。この力が弱いと、授業中にぼーっとする、テストで設問を読み間違えたり簡単な計算ミスをする、など多くの場面で学習に影響します。ADHD（注意欠陥多動性障がい）やASD（自閉症スペクトラム）ではこの注意集中に問題がある事が多く、学習習得の大きな妨げとなります。

②学ぶ意欲・姿勢の問題：苦手な事（教科）に取り組む事や繰り返しの漢字練習などを行うことは努力を要する事です。また、嫌な事があっても気持ちを切り替えて学習に取り組むこと、人からの誤りの指摘を受け入れること、などは物事を学ぶための基本の姿勢といえ、多くの子にとってこれらの力は無意識に身に付いているものです。ですがADHDやASDの児ではその特性により、これらの事がうまくできずに学習の取り組みを阻んでしまいます。

③協調運動（微細運動＋粗大運動）の問題：文字を書くという動作は実は非常に複雑な運動行為で、姿勢をコントロールしつつ、目と手を協応させながら、最終的には手指の微細運動で行われます。また走る、跳ぶ、バランスを保つ等は粗大運動といわれ運動の基本となる能力です。協調運動障害（DCD）は一つの疾患ですが、ASDに合併することも多く、これがあると姿勢が崩れやすい、字がマスからはみ出る、板書が追いつかない、定規やコンパスが使えない、運動が苦手など学校生活の広範囲で困難さを生じます。

④視覚機能の問題：眼の機能は視力だけでなく、両眼でみる力、動いているものを捉える力、焦点を合わせる力などが合わさっており、学習において大きな役割を担っています。この視覚機能に問題があると、音読の際に読み飛ばしや読み間違いが多い、板書が苦手、キャッチボールが苦手などの困難さを生じます。LDやASDの児で問題となることが多いです。

学習につまずきが見られる場合、まずはこれらの問題が隠れていないかどうかをチェックしてみましょう。それぞれの対策については次回お話します。

〈久米島町の発達障がい相談窓口〉
親子支援事業：役場福祉課（担当新垣）
☎985－7124
小児科外来：公立久米島病院小児科（担当渡邉）火曜・金曜の午後

10月11日（火）は体育の日の振替で休診となります。
10月より糖尿病外の担当医師が比嘉盛丈医師から小宮一郎医師変更になります。